

# 北神けいろうの国政報告：10月号

○いつも大変お世話になっております。  
 ○長い夏も終わり、先月末に臨時国会が始まりました。そして、小泉内閣が総辞職し、**安倍内閣が誕生**しました。新しい総理が掲げる政策は、現段階では曖昧で漠然としていますが、これからだんだんと国民の目の前に明らかになっていくでしょう。

## 年金生活者やサラリーマンの負担増!!

○とはいうものの、自民党の総裁選びの経緯や、安倍総理のこれまでの言動から大体想像はつきます。小泉前総理ほどの強引さはないでしょうが、**基本的には「構造改革」路線は継承される**でしょう。つまり、簡単に言えば、「国にお金がないから、増税と保険料の引上げを断行する。方法としては、年金生活者やサラリーマンを標的にして、取りやすいところから取る」ということです。

## 構造改革によって 17万8千円の負担増!!

○「構造改革」の下で、どのくらい国民負担が増えたのでしょうか。次の表を参照していただきたいと思います

**国政報告会開催案内 (西京区版)**  
 詳細に関しましては、ホームページもしくは、北神事務所へお電話(075-315-3487)にてお問い合わせ、ご確認ください。

が、これでは国民の生活は疲弊してしまいます。今後、安倍内閣がこうした無責任で、安易な政策を続けるのであれば、激しく対峙していかなければなりません。政治家も官僚も、財政再建(=増税と歳出削減)に神経質になりすぎてしまっています。視野を広げて、大局を見据え、社会保障、教育、産業戦略、さらには世界に目を向けた大方針を打ち立てる必要があります。

	年月	金額(億円)	一世帯あたり		年月	金額(億円)	一世帯あたり
雇用保険料引き上げ	2002年10月	3,000 <small>(労使合計額)</small>	6,057	住民税均等割の増税	2005年6月	539	1,088
政府管掌健康保険料引き上げ	2003年4月	10,300	20,795	配偶者特別控除上乘せ部分の廃止(住民税)	2005年6月	2,554	5,156
介護保険料引き上げ(1号保険料)	2003年4月	1,096	2,213	厚生年金・共済年金保険料引き上げ	2005年9月	6,400 <small>(労使合計額)</small>	12,921
酒税(ワイン・発泡酒)の増税	2003年5月	770	1,555	定率減税の縮減(所得税)	2006年1月	12,520	25,278
たばこ税の増税	2003年7月	1,100	2,221	介護保険料引き上げ(1号保険料)	2006年4月	1,500	3,028
地方たばこ税の増税	2003年7月	1,055	2,130	国民年金保険料引き上げ	2006年4月	400	808
配偶者特別控除上乘せ部分の廃止(所得税)	2004年1月	4,790	9,671	定率減税の縮減(住民税)	2006年6月	3,880	7,834
介護保険料引き上げ(政管健保加入者分)	2004年3月	(マクロ負担不明)		老年者控除の廃止(住民税)	2006年6月	1,003	2,025
厚生年金・共済年金保険料引き上げ	2004年10月	6,400	12,921	たばこ税の増税	2006年7月	940	1,898
公的年金等控除の縮小、老年者控除の廃止(所得税)	2005年1月	2,400	4,846	地方たばこ税の増税	2006年7月	882	1,781
介護保険料引き上げ(政管健保加入者分)	2005年3月	(マクロ負担不明)		厚生年金・共済年金保険料引き上げ	2006年9月	6,000 <small>(労使合計額)</small>	12,114
雇用保険料引き上げ	2005年4月	3,000 <small>(労使合計額)</small>	6,057	定率減税の廃止(所得税)	2007年1月	13,060	26,368
国民年金保険料引き上げ	2005年4月	400	808	定率減税の廃止(住民税)	2007年6月	4,274	8,629
合計						88,263	178,202

平成17年国勢調査を参照し、世帯数を4953万とした。

(出典 プレス民主150号 7頁より)

10月1日(日)19:00～ 榎原学区 電車公園の電車内  
 10月14日(土)16:00～ 松尾学区 松室会議所  
 10月28日(土)19:00～ 大枝学区 クリーニング山城屋様